

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビー志木駅前教室		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 30日		2024年 8月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	2024年 7月 20日		2024年 7月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 集団の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員が内容を共有し、統一の支援を行えるよう会議をおこなっている ・ 前月中に使用するプリントや教材等はすべて人数分準備を行い、当日は準備の負担なく支援することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職員や先輩職員により勉強会や支援見学などを行い、教室全体の支援力の向上を図る
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者へ寄り添った対応 ・ 職員の親しみやすさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者様や家族様への体調面や、精神面の配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ より丁寧なアセスメントや家族支援を行うために、面談の時間を確保する。 ・ 園訪問や関連機関との情報共有
3	・ 教材の豊富さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々に応じたプログラム ・ 面白い教材の使い方が見つかった時には共有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職員や先輩職員により勉強会や支援見学などを行い、教室全体の支援力の向上を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用希望があっても空き枠と合わずに受け入れが難しい場合、療育へ繋げることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣他事業所との連携が薄い。 ・ 1日の定員ではなく、月の人数に設定できると、土日希望の人もより多く療育を受けてもらうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣事業所との連携強化。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に一斉連絡ができるツールがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場の現状を本部へ提案ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本部への提案 ・ 現状のルールに則った動きの訓練
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一つの時間枠（1時間）しかない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団の内容や時間が固定枠で行っているため、時間枠の変更が簡単にできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期休みや5週目などを利用して長時間のイベントを実施していく。